2011年4月6日　毎日新聞

コレ良かんべ

那須塩原の「アキモト」パンの缶詰

災害に備え 備蓄用に

那須塩原市東小屋のパン・アキモト（秋元義彦社長）が製造販売する「パンの缶詰」が、災害などに備えた備蓄用非常食として注目を集めている。

普通サイズ（1食用）は、ブルーベリー、レーズン、粒粒イチゴ、トロピカル、メイプルなど15種類の味が選べる。缶詰だが、しっとり感が味わえる。賞味期限は13カ月から37カ月ある。

このほかに、ダブルサイズ（2食用）がある。賞味期限は3年。「救缶鳥」と名付け、セットごとの販売。備蓄用にした場合、賞味期限1年を残して入れ替えた際、会社が引き取り、NGOの日本国際飢餓対策機構を通じて海外の飢餓地域へ義援物資として送るシステムも設けている。

東日本大震災に伴い、「救缶鳥」は、海外ではなく、被災地向けに切り替え、これまでに岩手、宮城、福島宛ての義援物資として、普通缶を1万8000缶、ダブルサイズを計6000缶送った。ラベルには協力者のメッセージ欄も設けてある。

【柴田光二】

長期保存が利く非常食として注目されるパンの缶詰

▽料金は、普通サイズが350円から370円。ダブルサイズはセット売りで15缶入り1万2000円。問い合わせは☎0287・65・3557へ。